



美しく風格と和みのあるまちづくり

主担当部局：景観・環境局



奈良盆地を眺望できる桜井市音羽山観音寺周辺（奈良県景観資産より）

目指す姿

NPO、学校、事業所、自治会、県・市町村等が協働し、環境への配慮に加え、県民が和みを感じ、愛着と誇りを持つことのできる“美しく風格と和みのあるまちづくり”を目指します。



●奈良の景観の向上を目指し、
優れた景観の保全と創造、
好ましくない景観の改善
に取り組みます。

●廃棄物の排出量削減とリサイクルを
推進します。

家庭ごみ排出量を平成29年度
までに **602g/人・日** にします。
(平成23年度：644g/人・日)

その結果、最終処分率を平成29年度
までに **10.3%** にします。
(平成23年度：13.7%)

●清流を保全し、
復活 させます。

大和川：環境基準(BOD値)を達成さ
せませす(平成24年度環境基準達成率：
86%)吉野川：清流を保全します。

●CO₂の

排出抑制
に取り組みます。
(平成23年度：546万 t-CO₂)

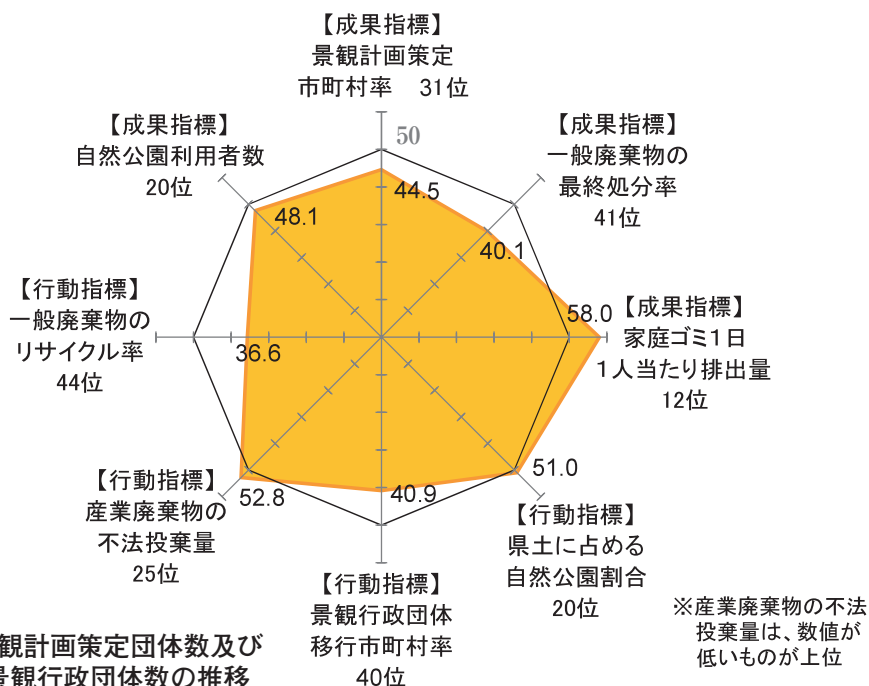
●豊かな自然環境を未来の子どもたち
に伝えます。

今でも豊かな自然が多く残され
ていると思う人の割合を平成27
年度までに **75%** にします。
(平成23年度：65%)

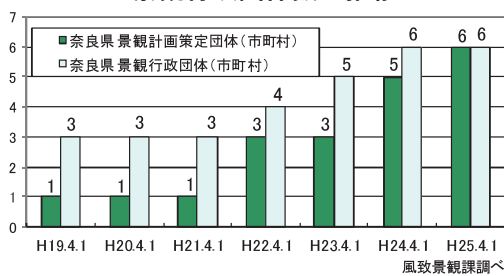
現 状

分 析

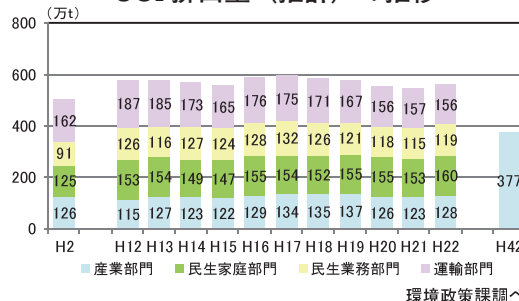
■ 主な指標



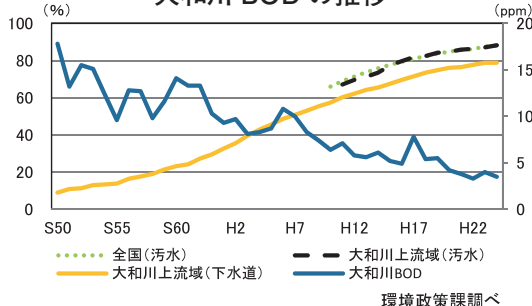
景観計画策定団体数及び景観行政団体数の推移



奈良県内エネルギー起源CO₂排出量(推計)の推移



汚水処理人口普及率、下水道普及率及び大和川BODの推移



- 平成21年度の景観条例施行・景観計画策定以来、各市町村に対して法制度を周知してきた結果、各市町村において意識が醸成され、景観行政団体へ移行する市町村の数及び景観計画を策定する市町村の数は、徐々に増加しています。
- 県民1人1日当たりの家庭ごみの排出量は、過去10年間で減少傾向にあり、その排出量は644gで全国平均と比較し、約50g少ないですが、リサイクル率は、平成23年度では13.5%で横ばい傾向が続いています。
- 本県の自然公園の県土に占める割合は全国平均の14.4%を上回る17.2%で、県土の良好な自然環境の保全に重要な役割を果たしています。

戦略1

美しく風格のあるまちなみを守り、創り、育てます。

主担当課：景観・環境局 景観・自然環境課

目標

▶平成29年度末までに景観資産の登録数を100件にします。

(平成25年11月現在：54件)

※景観資産とは、県内の景観的に価値のある建物や樹木、すばらしい景観を望める場所などを募集し、審査の後に登録されたものです。

取り組み

奈良の彩りづくりの推進

景観法に基づく建築物外観等への規制誘導

景観に配慮した屋外広告物への転換促進及び屋外広告物規制の強化

景観に関する住民間の協定等地域の良好な景観づくり

景観資産の運用と活用

景観サポーターの活用

無電柱化の推進

落書き・ゴミのポイ捨て対策の促進



「奈良の彩りづくり」の実施イメージ
(馬見丘陵公園)

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
奈良の彩りづくりの推進				
◎彩り植栽		植栽の整備・維持管理		
◎植栽計画	計画策定		計画の拡充	
◎植栽計画関連事業			実施	
◎市町村・地元団体等の支援		植栽整備に係る補助制度の運用	協働管理に係る支援制度の運用	アドバイザーの派遣等の実施
景観法に基づく建築物外観等への規制誘導				
◎制度運用		運用	検証	景観計画見直し検討
景観に配慮した屋外広告物への転換促進及び屋外広告物規制の強化				
◎規制の強化 (広域幹線道路の交差点周辺)			全面禁止	
			業者への指導の強化・違反対策に係る市町村の支援	
◎事例調査・改善検討	検討・検証		●制度改正	
◎修景助成制度の実施		運用		

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
景観に関する住民間の協定等地域の良好な景観づくり				
◎制度運用		運用		
景観資産の運用と活用				
◎登録		募集・審査・登録		
◎普及・活用		冊子配布・パネル展開催等		
◎眺望スポットの活用		計画策定・整備		
景観サポーターの活用				
◎制度運用	登録・育成・活用(植栽計画関連事業等へのマッチング等)			
無電柱化の推進				
◎平城宮跡周辺		工事実施		
◎奈良公園周辺	計画策定	工事実施		
落書き・ゴミのポイ捨て対策の促進				
◎落書き消去活動		実施		
◎クリーンアップキャンペーン等清掃活動		実施		

戦略2

きれいな生活環境を創造します。

主担当課：景観・環境局 環境政策課

目標

- ▶ 生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目指し、平成34年度までに**汚水処理人口普及率を95.2%にします。**(平成24年度：86.3%)
- ▶ 平成27年度までに**再生可能エネルギー設備容量2.7倍**(平成22年度：57,481kw比)を目指します。
- ▶ 節電により、**使用電力量を平成22年度から5%削減した状態を維持すること**を目指します。
- ▶ 平成29年度の県民1人1日当たりの**家庭ごみ排出量を48g削減**します。
(平成22年度：650g/人・日比)
- ▶ 平成27年度までに県民の「**生物多様性**」の認知度を**80%に**します。
(平成23年度：45%)

取り組み

河川の水質の保持・水量の確保

水辺環境の整備と里川の再生

CO₂排出量の削減

CO₂吸収源の整備

廃棄物の排出抑制・循環的利用の促進

廃棄物の適正処理の推進、不法投棄・不適正処理の撲滅

生物多様性なら戦略の推進



植樹ツアー
(奈良県環境県民フォーラム)

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
河川の水質の保持・水量の確保				
◎大和川水質汚濁の見える化(ホームページ等で公開)	見直し		公開	
◎菟川導水改善計画実施、菩提川導水実施		導水計画・実施		
◎合併浄化槽への転換・設置促進、維持管理の充実		設置補助等の実施		
◎下水道の整備促進		整備実施		
水辺環境の整備と里川の再生				
◎流域ネットワークの形成		実施		
◎河川美化活動団体の支援制度加入促進		実施及び活動の見える化推進		
◎良好な河川空間確保のための重点除草		包括的な維持管理マネジメントの実施		
◎奈良県山の日・川の日啓発活動の推進		実施		
CO ₂ 排出量の削減				
◎多様な再生可能エネルギー等の普及拡大		整備の検討・推進、導入支援等		
◎奈良の省エネ・節電スタイルの推進		節電スタイルの定着、整備推進、導入支援等		

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
CO ₂ 吸収源の整備				
◎適切な森林整備(間伐)の推進		整備等の実施		
◎県産材の利用促進(県産材住宅等)		実施		
廃棄物の排出抑制・循環的利用の促進				
◎排出抑制・減量化の技術・研究開発の促進		補助等実施		
◎ごみ資源の循環的利用の促進(奈良モデル・プロジェクトの推進)		検討の実施		
廃棄物の適正処理の推進、不法投棄・不適正処理の撲滅				
◎排出事業者責任の徹底		指導等の実施		
◎不法投棄・使用済家電等対策の強化(奈良モデル・プロジェクトの推進)		指導等の実施		
生物多様性なら戦略の推進				
◎なら生物多様性保全ネットワークの設置及び強化・充実		連携・協働の実施		
◎自然公園の整備と利用促進		トイレや標識整備等の実施		

これまでの成果

「**植栽計画**」の策定と並行して、平成25年度までに**28のエリア**で先行して**整備に着手**しました。

世帯当たりの**電力消費量は減少**しています。
(平成18年度 5,903KWh/年 → 平成23年度 5,842KWh/年)

1人1日当たりの家庭ごみの排出量は減少しています。(平成17年度 756g/人・日→平成23年度 644g/人・日)
産業廃棄物の排出量は減少しています。(平成17年度1,969千t→平成22年度1,539千t)

特定希少野生動植物の保護を図るため、**保護管理事業計画を順次策定**しています。
(計画の策定 平成21年度:0→平成24年度:3(ニッポンバラタナゴ・カスミサンショウウオ・ツクシガヤ))

主な指標の動き

よくなっている指標

◆景観計画策定団体数

5団体 [H24.4] → 6団体 [H25.4]
・景観計画策定団体数は、増加しています。

◆大和川の水質(環境基準達成率(BOD値))

環境基準達成率: 52% [H18] → 86% [H24]
5.4mg/ℓ [H18] → 3.5mg/ℓ [H24] (奈良県4地点平均)
・汚水処理人口普及率(86.3%(全国19位) [平成24年度])の上昇とともに改善傾向にあります。

◆CO₂排出量(排出係数:固定)

584万トン [H18] → 546万トン [H23]
・CO₂排出量は、全体として減少しています。

◆自然公園利用者数

15,670千人(全国23位) [H18] → 15,430千人(全国20位) [H23]
・自然公園の利用者数は減少しているものの、全国順位は上昇しています。

変化が見られない指標、低下している指標

◆家庭からのCO₂排出量(排出係数:固定)

155万トン [H18] → 152万トン [H23]
・家庭からのCO₂排出量は、ほぼ横ばいで推移しています。

◆一般廃棄物の最終処分率

14.2%(全国30位) [H17] → 13.7%(全国41位) [H23]
・一般廃棄物の最終処分率は、ほぼ横ばいで推移しています。



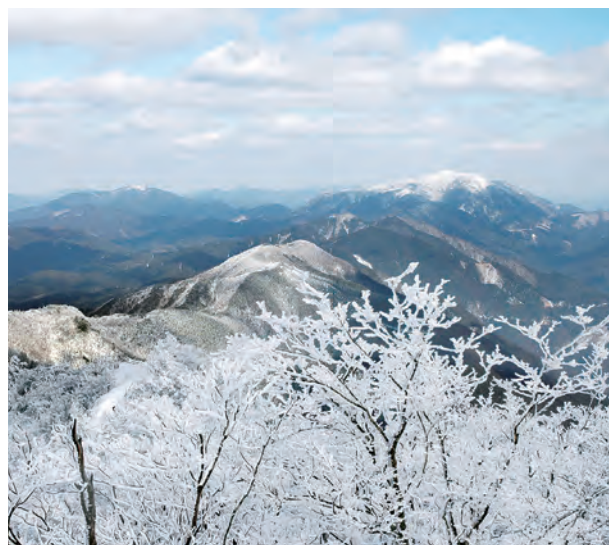
馬見丘陵公園
(陽だまり広場)



吉野川が眺望できる宮滝・柴橋
(奈良県景観資産より)



十三重塔を望む談山神社境内
(奈良県景観資産より)



高見山地が眺望できる高見山山頂展望台
(奈良県景観資産より)